

バスケットボール用語集

2009年
用語

2月27日 Ver.
意 味

(outside screen) アウトサイドスクリーン	オフェンスプレーヤーが味方の後方（ゴールより遠く）を擦れ合うように動くことによって生ずるスクリーン。（インサイドスクリーンの反意語）
(outside foot) アウトサイドフット	外側の足、あるいはゴールから遠い方の足。（インサイドフットの反意語）
(out number) アウトナンバー	有効な攻撃が展開できる場所で、オフェンスがディフェンスよりも多い人数で攻めること。（オーバーナンバーも同意語）
(outlet pass) アウトレットパス	ディフェンスリバウンドの後、最初に出すパス。
(assist pass) アシストパス	ボールを受け取った者がディフェンスをかわず動作をすることなくシュートし、それがゴールインするように届けるパス。
(arch) アーチ	シュートが描く放物線の軌跡。（ループと同意語）
(inside out dribble) インサイド・アウト・ドリブル	ドリブルフェイクの一つで、クロスオーバードリブルを行なうようにみせて実際は手を変えない方法。ボールが身体を中心に移動してから再び外側に動く為にこのような名前で表現する。
(inside screen) インサイドスクリーン	オフェンスプレーヤーが味方の前方（ゴールに近く）を擦れ合うように動くことによって生ずるスクリーン。（アウトサイドスクリーンの反意語）
(inside foot) インサイドフット	内側の足、あるいはゴールに近い方の足。（アウトサイドフットの反意語）
(intercept) インターセプト	オフェンスのパスを途中（空中）で奪うこと。
(inbound) インバウンド	スローインでコート内に投げ入れること。
(in-line) インライン	ディフェンダーが、マークマンとゴールを結んだ線上で、マークマンよりもゴールに近い内側にポジションを占めること。
(weak side) ウイークサイド	2つの意味に使われる。両方のゴールを結んだミドルラインによってコート縦に二分した時のボールのない方の側をいう。他の1つはディフェンダーの前足の側をいう。いずれもディフェンスにとってウイークなサイドという意味である。
(weave) ウィーブ	交差する動き、すなわちパスした後その相手の後ろ（または前）を通る動きを、3人以上が循環的に連続させること。
(wing) ウイング	フリースローラインの延長線上のフォワードポジションのこと。
(wing man) ウイングマン	ファーストブレイクの時に、サイドレーンを走る選手のこと。
(elbow) エルボー	フリースローラインのどちらかの端（フリースローラインとサークルとの交点）を指す。
(entry pass) エントリーパス	オフェンスがセットオフェンスに入る時の最初のパス。
(empty) エンプティ	選手が誰もいない状態のこと。
(over play) オーバープレー	オフェンス選手に特定のプレーをさせないことを目的として、ディフェンダーが通常の動きの範囲を越えてディフェンスしたり、ある特異な動きを強調して行うこと。
(over load) オーバーロード	ある場所において人数の上で優位になるために、ディフェンダーの数よりも多くオフェンス選手を配置させること。
(open stance) オープンスタンス	オフボールのディフェンダーが、ボールの方へ身体の正面を向けて構えるスタンスのこと。（クローズスタンスの反意語）
(operation zone) オペレーションゾーン	ボールを受け取った時に直ぐに効果的な1対1の攻めができる場所のこと。
(guard) ガード	発祥当時は、自チームのゴール周辺に位置し、攻め込んでくる相手フォワードを防御する選手のことを指していた。しかし、このような分業的な考え方は徐々になくなり、現在ではゲームをコントロールする指令塔的な役割を果たす選手を指すようになった。
(cutter) カッター	カットする選手をいうが、狭義ではスクリーンを利用して動く選手のことをいう。
(cut) カット	オフェンス選手のある場所からある場所への移動を"カット"という。移動する軌跡や移動の方向を示す言葉を伴って、Vカット、カットインなど使われる事が多い。
(cut away) カットアウェイ	スクリーナーがスクリーンをセットしたあと、ゴール方向へカットする動き。
(cut off) カットオフ	スクリーナーを利用してカットする動き。

用語	意味
(give and go) ギブアンドゴー	ボールを持っている選手が味方にパスをし、ディフェンダーを振り切ってリターンパスをもらうプレー。(パスアンドランも同意語)
(gap) ギャップ	ディフェンダー同士の隙間のこと。
(clearer out) クリアアウト	場所を空けること。その場所からいなくなること。クリアーと同意。
(closed out) クローズアウト	ディフェンダーがオフェンス選手との間合いを詰める時のフットワーク
(close up shoot) クローズアップショット (closed stance) クローズスタンス	ランニングショットのフォームの一つで、ワンハンドのセットショットやジャンプショットのようにボールを支えて行なうショット。 掌を上にしてボールを載せるレイアップショットと区別して使われる。 オフボールのディフェンダーが、ボールの方へ身体の背面を向けて構えるスタンスのこと。(オープンスタンスの反意語)
(cross over step) クロスオーバーステップ	軸足に対してリードフットが交差するステップのこと。
(cross over drive) クロスオーバードライブ	クロスオーバーステップしてドライブすること。
(cross over dribble) クロスオーバードリブル	ドリブルによる方向変換の方法の一つ。身体の前で左右の手にボールを移し変える方法。
(cross court pass) クロスコートパス	ボールサイドからヘルプサイドへとコートを横切るパス。
(cross screen) クロススクリーン	レーン(制限区域)を横切って行われるスクリーンのこと。
(coffin corner) コフィンコーナー	棺のコーナーという意味。センターラインとサンドラインによって作られるコーナーをさし、その場に立ち止まってはならないという意味を持っている。
(combination defense) コンビネーションディフェンス	オフェンスの動きに対応して、ゾーンとマンツーマンを併用すること。
(sag) サッグ	ディフェンダーが、ボールの移動に伴って、自分のマークマンから離れてボールラインまで下がってヘルプポジションをとること。
(seal) シール	相手に密着して動きを封じること。例えば、オフェンス選手がディフェンダーに背中や腕をピッタリくっつけて、ディフェンダーが前に出てパスを阻止しようとする動きを封じること。
(shell defense) シェルディフェンス	ヘルプアンドリカバーを徹底して、貝殻が閉じるようにディフェンスを固め、特にインサイドへの攻撃を簡単にさせないディフェンス。
(jab step) ジャブステップ	ボールを持った時の1対1の攻撃で、リードフットを使ってディフェンダーの反応を見る為に踏む小刻みのステップのこと。ドリブルの突き出しをする前のフェイクとして使われる。
(jump stop) ジャンプストップ	歩いたり走ったりした状態から(一度ジャンプして)両足同時にストップすること。
(shooting hand) シューティングハンド	ワンハンドショットを打つ時のボールを放つ方の手。
(shooting pocket) シューティングポケット	ショットを打つ前のボールの位置をさし、ボールを顎の下に保持した状態。
(show defense) ショウディフェンス	スクリーンプレーに対するディフェンス方法の1つ。スクリーナーのディフェンスがスイッチすると見せてカッターの動きを一度中断させ、カッターのディフェンスが戻るまでの時間を稼いで対応しようとする方法。
(short corner) ショートコーナー	フリースローレーンを規定する斜線とエンドラインが作るコーナーをいう。特にゾーンオフェンスの際にポストマンが占める重要な位置になる。
(shot selection) ショットセレクション	どのような状況で、どの場所からショットするのが良いかを選択すること。選択するには様々な条件(フロアバランス、ショットの確率、リバウンド、セフティなど)が関わる。
(shot range) ショットレンジ	ボールが無理なく届くショット範囲のこと。
(switch) スイッチ	スクリーンプレーに対するディフェンス方法の1つ。スクリーナーとカッターのディフェンダーがそれぞれマークマンを取り替えること。
(swing) スイング	ボールを大きく移動させること(例:ボールを持って左右に振る)。あるいは左右の離れた選手が入れ替わることを言う。
(scouting) スカウティング	対戦試合に備えて、相手チームのことを事前に調査研究することをいう。
(skip pass) スキップパス	隣の選手をとばしてその向こうの選手に送るパス。
(square-up) スクエアアップ	ゴールまたは自分についているディフェンダーに対して正対して身構えること。
(square stance) スクエアスタンス	両肩、両足を前後にせず、平行にした構えかた。

用語	意味
(screen) スクリーン	オフェンス選手がディフェンダーの進路を妨げる位置を占め、味方がオープンになることを助けるプレー。スクリーンをセットする選手をスクリーナー、スクリーンを利用してカットする選手をカッターもしくはユーザーという。スクリーナーがセットする位置や方向などによって、いろいろなスクリーンがある。(例: バックスクリーン、ラテラルスクリーン、フリースクリーン、ダウンスクリーン、インサイドスクリーン、アウトサイドスクリーンなど)
(screen out) スクリーンアウト	リバウンドを取られないように、ディフェンダーがオフェンス選手を背中に押さえこんで動きを止めること。(ブロックアウト、ボックスアウト、コンテストも同意語)
(staggered screen) スタガードスクリーン	カッターに対して、2人のスクリーナーが少し離れてタイミングをずらして(時間差で)スクリーンをセットするスクリーンプレー。
(stack) スタック	ポストエリアに選手が2人並んだ状態のこと、あるいはそれを利用した攻撃方法のこと。
(stance) スタンス	左右それぞれの足の位置(両足の位置関係)、あるいは足幅を示す。また、体制、構えの姿勢をいう場合もある。
(steal) スティール	パスサー、ドリブラー、リバウンダーといったボール保持者から、ボールを奪うこと。
(step back) ステップバック	後ずさりすること。
(stalling) ストーリング	勝っているチームがボール保持時間を意図的に長くして時間の経過を図ること。(フリージングも同意語)
(straight zone) ストレートゾーン	ただ単に2-3や3-2などの隊形をとるゾーンディフェンス
(straight drive) ストレートドライブ	クロスオーバーしないでリードフット側にそのままドライブすること。ストレートマンツーマン(straight man to man)オーバーディフェンスをしたりディナイしたりせず、ただ単に自分のマークマンとゴールの間に位置して守るマンツーマンディフェンスのこと。
(strong side) ストロングサイド	2つの意味に使われる。両方のゴールを結んだミドルラインによってコートを縦に二分した時のボールがある方の側をいう。他の1つはディフェンダーの後ろ足の側をいう。いずれもディフェンスにとってストロングなサイドという意味である。
(spin dribble) スピンドリブル	ドリブルしながら素早い回転(ロールまたはバックターン)をすること。
(spacing) スペーシング	オフェンスの選手同士の間隔。
(spot pass) スポットパス	軌跡が放物線を描く山なりのパスで、ある点に落とすという意味でこう呼ぶ。
(slide step) スライドステップ	左右それぞれの足を交差させずに、床の上を滑らせるように足を運んで移動するフットワーク。
(slide through) スライドスルー	スクリーンプレーに対するディフェンス方法の1つ。カッターのディフェンダーがスクリーナーとスクリーナーのディフェンダーの間を通してスクリーンをする抜ける。
(3point play) スリーポイントプレー	ファウルを貰いながらショットを決め、フリースローでさらに1点を追加できるような、3得点をねらうプレーのこと。
(safety) セーフティ	オフェンスの際に、最後尾の位置を占め相手に安易な速攻を許さないようにすること。
(secondary break) セカンダリーブレイク	ファーストブレイク(速攻)で攻めきれなかった時に、継続して後続の選手に展開して行う攻撃。
(set offense) セットオフェンス	ディフェンスの体制が整った状態つまり、マンツーマンではピックアップ、ゾーンでは5人のポジショニングが整った状況における攻撃。
(target hand) ターゲットハンド	パスを受ける時に的となる手をいう。例えば、ポストマンがポストアップしている時にはディフェンスから遠い方の手がターゲットハンドになる。
(turn around shot) ターンアラウンドショット	インサイドでゴールとディフェンスを背中にしてボールを受け取ったあと、片足を軸にしてゴールの方へフロントターンをして打つシュートのこと。
(turn over) ターンオーバー	オフェンス側がミスプレーやバイオレーションによってボールの保持を失うこと。
(down screen) ダウンスクリーン	スクリーナーがハイサイドからローサイドに動いてセットするスクリーンのこと。
(dug in) ダググイン	インサイドにいるオフェンス選手がディフェンダーの前に出て、背中で相手を押さえ込むプレー。
(tap pass) タップパス	きちんとしたキャッチをせずに、ボールをはじくようにして行なうパスのこと。
(double screen) ダブルスクリーン	2人のスクリーナーが並んでセットするスクリーンのこと。

用語	意味
(double team) ダブルチーム	ボールマンを2人のディフェンダーが挟んで守ること。
(dummy move) ダミームーブ	例えばボールを持たないでジャンプショットの真似をするなど、似せた動きをすること。
(two man game) ツーマンゲーム	ガードとフォワードによる2対2の攻撃のこと。
(deep man) ディープマン	スキップパスを貰う位置にいる選手。
(digging) ディッキング	ペリメーターのディフェンダーが、ボールを持ったポストマンまで近づいて守ること。手のひらを上に向けて下からボールを取ろうとした姿勢が穴掘りに似ていることからこう言われる。
(deny) ディナイ	ディフェンダーがパスレーンを塞いで、マークマンにボールを持たせないようにすること。
(delay game) ディレイゲーム	攻撃に時間をかけ、ゲームの流れを緩やかにしたり、相手の攻撃回数を少なくしようとする作戦。
(drive) ドライブ	素早い動きでドリブル移動すること。
(drive step) ドライブステップ	攻撃的なジャブステップのこと。
(trap) トラップ	ディフェンスがあらかじめ準備した"罠"へオフェンスを追い込み、ミスプレーを誘発させようとする戦術。
(transition) トランジション	オフェンスからディフェンス、ディフェンスからオフェンスへの切り替え。(コンバージョンと同義語)
(triple threat position) トリプルスレットポジション	ショット、パス、ドリブルのいずれのプレーもすばやくできるような構えをいう。スリースレットともいう。
(dribble change) ドリブルチェンジ	右から左、又は左から右へとドリブルするサイド(手)を変えること。
(tornado step) トルネードステップ	ドリブラーが素早いバックターンをするために、急激に脚を前後に開いてターンにつなげる一連のステップをいう。ディフェンダーのスタンスより広く、よりゴールに近づくように行なうと効果的である。開脚からターンまでのステップがトルネードを思わせるということでこう呼ぶ。(99、9、13茨城大学、加藤敏弘先生命名)
(trainer) トレーラー	後方から追いかけてくる選手のこと。トレーラーはリバウンドを獲得した選手、或いはセンター選手がなる場合が多く、セーフティの役目も担う。
(drop step) ドロップステップ	ディフェンダーがリードフット(前足)を後方に引くステップのこと。
(number call) ナンバーコール	マンツーマンディフェンスの際に、それぞれが誰をマークするかを、番号を言い合って確認すること。(和製英語だが、定着しているのでそのまま使うことにする)
(vertical screen) バーティカルスクリーン	スクリーナーが縦方向に動いてセットするスクリーンのこと。(ラテラルスクリーンの反意語)
(back up dribble) バックアップドリブル	ディフェンスのプレッシャーが強い時に、一度後退して様子を伺うようにするドリブルのこと。
(back cut) バックカット	オフボールのディフェンダーの背中側を通るカット。
(back screen) バックスクリーン	スクリーナーがディフェンスの背中方向(背後)からセットするスクリーンのこと。(アップスクリーンも同意語)
(back door) バックドア	オフェンス選手がボールにミートする状況で、ディフェンダーがボールサイドをオーバーディフェンスしてきたとき、素速く切り替えしてブラインドサイドをカットするプレー。
(hash mark) ハッシュマーク	フリースローの時にレーン上に並ぶ選手の境界を示すマークのこと。
(passing game) パッシングゲーム	選手の配置や動きをフォーメーション化、パターン化するのではなく、ディフェンスに応じた状況判断によって、スクリーニング、カッティング、パッシングを上手く機能させるフリーランスオフェンス。ボールの動き(パッシング)を強調する時にこう呼ばれる。(モーションオフェンスと同義語)
(balance hand) バランスハンド	ワンハンドショットを打つ時のボールを放つ方と逆の手。
(hurry back) ハリーバック	大急ぎ、必至で戻ること。
(power shot) パワーショット	本来はリング周辺でディフェンスのブロックショットをものともしないパワフルなショットをいうが、両足踏み切りによる力強いランニングシュートについてもいう。
(bank shot) バンクショット	バックボードを利用したショットのこと。

用語

意味

(pick) ピック	オフェンス選手がディフェンダーの進路を妨げるポジションを占めること。(スクリーン、ブロックと同義語)
(pick up) ピックアップ	ディフェンダーが自分のマークマンを捕まえること。
(behind the back) ビハインドザバック(ドリブル)	背中後ろを通したドリブルチェンジのこと。
(pin hand) ピンハンド	ディフェンスのプレッシャーを受けながらボールを受ける時に、ディフェンスに邪魔されないようにあてがう手で、ターゲットハンドに対して使われる。
(fight over) ファイト・オーバー	スクリーンに対する、ディフェンダーの対応方法の一つ。スクリーナーより下(ゴールに近い側、カッターから遠い側)を通過してスクリーンを避けて動く通常のスライドスルーに比べてより積極的に、スクリーナーの上側(ゴールより遠い側、カッターに近い側)を通過して避けるスライドスルー。
(foul trouble) ファウルトラブル	選手又はチームにファウルがかさみ、思い切ったディフェンスが出来なくなること。
(funnel defense) ファンネルディフェンス	チームディフェンスとしてのスタンスの決め方で、ミドルライン(中央線)側の足を下げるボクサーズスタンスをとる方法(反意語:ファンディフェンス)。じょうご(ファンネル)の形からきている。
(fan defense) ファンディフェンス	チームディフェンスとしてのスタンスの決め方で、サイドライン、エンドライン側の足を下げるボクサーズスタンスをとる方法(反意語:ファンネルディフェンス)。扇(ファン)の形からきている。
(V-cut) ブイカット	選手の動く軌跡がV字型になるカットのこと。ある場所から目的の場所へ移動する時、任意の一点で鋭く切り返して(V字)目的の場所へ行く動き。
(feed) フィード	直ぐに攻撃できる状態の味方にパスを出すこと。
(filling) フィリング	空いている場所に移動してその場所を埋めること。
(face-guard) フェイスガード	オフボールのディフェンダーが、ボールを見ないで自分のマークマンと向かい合ってディナイするディフェンス。
(fade away) フェードアウェイ	ディフェンスから離れる動き。
(follow through) フォロースルー	シュートの際の、ボールが指先から離れた(リリース)後の手の動き。
(hook shot) フックシュート	ディフェンスにブロックされないように、身体の側面から手首を鉤の形のようにさせて行なうシュート。肘を軽く曲げて行なう方法をベビーフックと呼ぶ。
(blind area) ブラインドエリア	ボールマンから見て、ディフェンスの裏側(陰)になる場所をいう。オフボールマンが長く止まってはいけない場所である。(ビジョンエリアの反意語)
(blind side) ブラインドサイド	選手の視野がなくなるサイドをいう。ヘルプポジションにいるディフェンスにとっては、ボール側がボールサイドになり、ボールから遠い側がブラインドサイドになる。
(1 flash post) フラッシュポスト	ボールを受ける為にポストに向かって急にとびだすこと。
(free foot) フリーフット	ボール保持者がピボットステップする時の軸足(ピボットフット)でない方の足。(リードフットと同義語)
(flare cut) フレアーカット	ゴールに対し外側に広がるような軌跡のカットのこと。
(float) フロート	ボールから2パス以上離れたディフェンダーが、ボールの移動にともなって、自分のマークマンから離れてボールの方へ寄ってヘルプポジションをとること。
(block shot) ブロックシュート	ディフェンスがシュートを空中で叩き、ゴールインを防ぐ動作をいう。
(fronting) フロンディング	ディフェンダーがオフェンス選手の前面の位置を占めること。
(front cut) フロントカット	オフボールのディフェンダーの前側を通るカット。
(front turn) フロントターン	身体の前方向にターンすること。 反意語 - (reverse turn)
(hesitation) ヘジテーション	ためらい、躊躇の意。ドリブラーが動きを一瞬とめる時や、ディフェンダーがオフェンスに近づくと見せかけて後退したりする時に使う。
(penetrate) ペネトレート	オフェンス選手がドリブルを使って、ディフェンスの間を突き抜けるようにゴールに向かって進むこと。
(perimeter) ペリメター	インサイドを取り囲む周辺のエリアのこと。またはディフェンスの防御位置の外郭をいう。
(help and recovery) ヘルプアンドリカバリ	ボールを持っていない選手についてのディフェンダーが、有利な状態にあるオフェンスを一時的に守り、再び自分のマークマンを守ること。

用語	意味
(help man) ヘルプマン	ボールマンから直接パスを貰う事ができる位置にいる選手。
(ball screen) ボールスクリーン	ボールマンのディフェンダーにセットするスクリーン。
(ball man) ボールマン	ボールを持っている選手のこと。正確にはオン・ボール・マン
(ball line) ボールライン	ボールのある地点を通してエンドラインと平行に引いた仮想ラインのこと。
(boxer's stance) ボクサーズスタンス	足に前後差をつけて構えるスタンスのこと。(ストライドスタンスと同意語)
(pocket) ポケット	相手に取られずにボールをキープできる場所という意味で用いる。ジャンプボールの際に、味方が2人並んで陣取り、ボールをゲットしようとする時にポケットを作るという。
(position-number) ポジション番号	コート上の5人に番号をつけ、選手の役割またはポジションをわかりやすくしている。1番はポイントガード、2番はオフ(シューティング)ガード、3番はスモールフォワード、4番はパワーフォワード、5番はセンターを示すのが普通である。
(post-up) ポストアップ	オフェンス選手がポストエリアでディフェンダーを背中にしてポジションを取る事。
(box and one) ボックス・アンド・ワン	相手オフェンスの鍵になる選手をマンツーマンで守り、残りの4人が箱型のゾーンで守る方法。菱形になればダイヤモンド・アンド・ワンという。
(pop out) ポップアウト	アウトサイドでボールをレシーブする為に、ボンと飛び出る動き。
(body check) ボディーチェック	相手の動きを身体で止めること。
(pump fake) ポンプフェイク	ゴール下で、ボールを持った選手がシュートをすると見せかけてボールを上下にふるフェイクのこと。
(match up) マッチアップ	ディフェンスとオフェンスの選手が相対すること。
(match up zone) マッチアップゾーン	オフェンスの攻撃隊形に応じてゾーンを変化させ、ボールマンに対しては常にマンツーマンでディフェンスするように計画されたゾーンディフェンスの方法。ゾーンとマンツーマンの長所を取り入れたコンビネーションディフェンスである。
(meet) ミート	オフェンス選手がパスを受ける際、ボールが来るのを待っているのではなく、ボールが来る方向へとび出してキャッチすること。
(miss match) ミスマッチ	背の高いオフェンス選手に背の低いディフェンス選手がつかなければならないような不利な状況。(和製英語)
(middle lane) ミドルレーン	コートを縦に3分割した時の真ん中のレーンのこと。
(motion offense) モーションオフェンス	選手の配置や動きをフォーメーション化、パターン化するのではなく、ディフェンスに応じた状況判断によって、スクリーニング、カッティング、パッシングを上手く機能させるフリーランスオフェンス。(パッシングゲームも同意語)
(lateral screen) ラテラルスクリーン	スクリーナーが横方向に動いてセットするスクリーンのこと。(バーティカルスクリーンの反意語)
(running step) ランニングステップ	上半身をオフェンスの方に向けて、走りながら移動するディフェンスのフットワーク。
(reach back shot) リーチバックショット	バックシュートの1つの方法で、エンドラインまたはゴールから遠い方の手で行なうシュート。
(recruiting) リクルーティング	入学勧誘、入部勧誘の為の行為。
(retreat step) リトリートステップ	ディフェンダーが相手のドライブに対して、後ろ足を後退させて対応させるフットワーク。
(reverse turn) リバースターン	身体の前方向のターン(フロントターン)に対して、その逆方向のターンのこと。(リバースピボット、バックターンも同意語)
(replace) リプレイス	元いた場所に再び戻ること。
(loop) ループ	ボールが描く放物線の軌跡。(アーチと同意語)
(lay-up shot) レイアップショット	掌を上に向けてボールを支え、ゴールにボールを置くようにして行うランニングショット。
(lay-back shot) レイバックショット	バックシュートの1つの方法で、エンドラインに近い方の手でおこなうレイアップショット。
(leg through) レッグスルー	両足の間を通すドリブルチェンジのこと。
(rotation) ローテーション	味方選手の移動によって空いた場所を順番に埋めるように位置を移動すること。

用語	意味
(roll) ロール	相手を背中で巻き込むようにバックターンをすること。
(rocker motion step) ロッカーモーション・ステップ	ロッキングチェアのように上下に揺れる動きを伴うフェイクステップのこと。ボールを持ったオフェンスがディフェンダーに対して抜きたい方向に足を出し、ディフェンダーを下がらせ、出した足を戻すと見せかけ上体だけを引く。ディフェンダーがそれにつられて間合いを詰めてくるところをぬき去る。
(lock in) ロックイン	ボールを保持した時、相手に奪われないように肘を張り、顎の下あたりにボールを閉じ込めること。
(one-pass away) ワンパスアウェイ	ボールマンからのパスを中継なしに受け取ることのできる距離。通常は5～6m程度。(ツーパスアウェイという用語もある)

注) 以上の用語は、技術に対する共通理解を目的に整理しました。
多くは大修館書店発行の「バスケットボールコーチングバイブル」より引用

編) 島根県バスケットボール協会強化部長
国立松江工業高等専門学校 体育研究室 助教授
森山 恭行